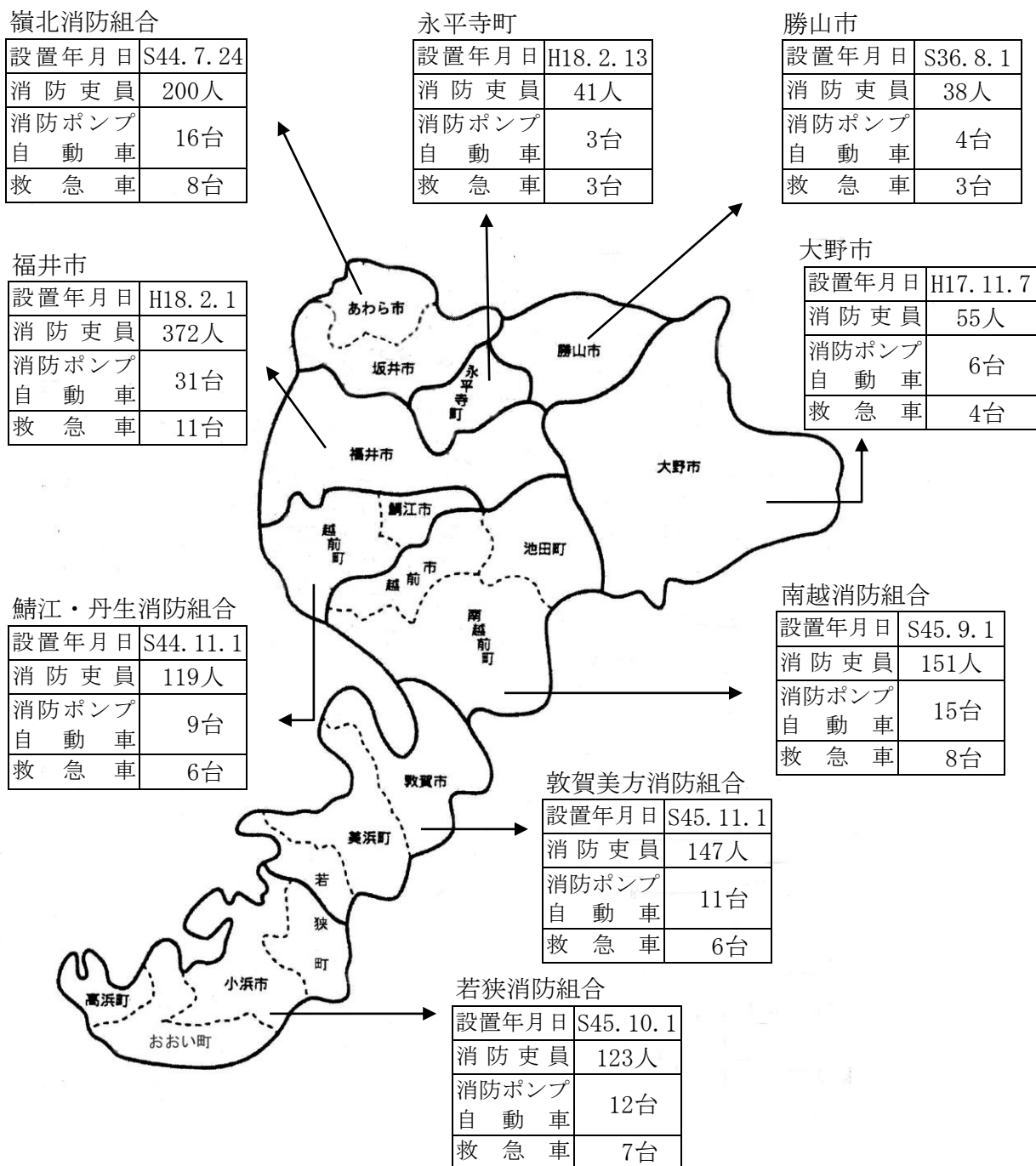


消 防 編

第1章 消防の概要

第1表 福井県常備消防体制(令和2年4月1日現在)



※台数については、消防団分を含まない

第2表 消防の概況表

面積（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」R2. 1. 1現在）		4,190.52 km ²	
平成27年国勢調査(確定値) 人口		786,740 人	
推計人口(令和2年4月1日現在)		764,076 人	
推計世帯数(令和2年4月1日現在)		289,357 世帯	
65歳以上高齢者数(福井県の推計人口 令和2年1月1日現在)		231,300 人	
高齢化率（ ” ” ）		30.3 %	
地域別人口	福井坂井地区(平成27年国勢調査 確定値)	404,796 人	
	奥越地区	57,234 人	
	丹南地区	184,783 人	
	嶺南地区	139,927 人	
令和元年火災状況	火災件数	170 件	
	うち	建物火災件数	103 件
		林野火災件数	4 件
	建物焼損面積	11,009 m ²	
	林野焼損面積	30 a	
	損害額	1,040,114 千円	
	うち	建物火災	1,008,998 千円
	死者(自殺者数内数)	10 (1) 人	
負傷者	30 人		
出火率(人口1万人に対する出火件数) ※人口:平成31年3月31日現在		2.17 件	
令和元年救急状況	救急出場件数	30,091 件	
	うち	急病	18,600 件
		交通事故	2,389 件
		一般負傷	4,703 件
搬送人員		28,613 人	
消防本部・署所	消防本部	単独設置市	3
		単独設置町	1
		消防一部事務組合	5
	消防署数		19
	出張所数		28
	消防職員	消防吏員	1,246 人
		その他の職員	22 人
合計		1,268 人	
消防団	消防団数		18
	分団数		238
	消防団員	非常勤団員数	5,814 人
		常勤団員数	—
		合計	5,814 人

消 防 車 両 等	区 分		消防本部・署所	消 防 団	
	普通消防ポンプ自動車			54 台	136 台
水槽付消防ポンプ自動車			23 台	—	
はしご付消防ポンプ自動車			12 台	—	
屈折はしご付消防ポンプ自動車			2 台	—	
大型高所放水車			1 台	—	
泡原液搬送車			2 台	—	
化学消防自動車			15 台	—	
指揮車			20 台	—	
小型動力ポンプ付積載車			—	208 台	
小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)			29 台	97 台	
広報車			34 台	—	
資機材搬送車			27 台	—	
屈折放水塔車			0 台	—	
救急自動車			56 台	—	
救助工作車			15 台	—	
その他の車両			27 台	—	
消 防 水 利	消火栓	公 設		18,651 個	
		私 設		98 個	
	防火水槽	100m ³ 以上		136 基	
		60m ³ 以上 100m ³ 未満		143 基	
		40m ³ 以上 60m ³ 未満		4,850 基	
		20m ³ 以上 40m ³ 未満		476 基	
	井戸	公 設		80 個	
		私 設		—	
そ の 他				573 個	
通 信 施 設 等	消防用無線		基地局および固定局		67 局
			移動局		936 局
	防災行政無線	市町	同報無線	同報親局	28 局
				同報受信設備	25,194 局
			移動無線	基地局	19 局
		移動局		767 局	
		県	固定系	地上系	29 局
				衛星系	71 局
	移動系		基地局等	19 局	
			移動局等	222 局	
	テレビ監視装置				2 基
	火災報知専用電話				104 回線
消防電話				224 回線	

第2章 火災の実態

1 概 況

令和元年中の火災発生件数は170件、死者10人、負傷者33人、損害額10億4,011万円、焼損棟数155棟、り災世帯数86世帯、り災人員197人となっており、一日当たりの損害状況は第1表のとおりで、概ね毎日285万円が灰じんに帰していることになる。

火災発生件数、損害額および死傷者数の過去10年間の推移は、第1図、第2図のとおりであり、火災発生件数においては、平成25年中が最も多く、平成29年中が最も少ない。

2 出火件数および損害額の状況

(1) 出火件数

総出火件数は170件で、これを火災種別ごとにみると、第3図のように建物火災が103件で全体の60.6%を占め、林野火災4件(2.4%)、車両火災34件(20.0%)、その他火災29件(17.1%)となっている。

また、建物火災だけでみると、第4図のように一般住宅が28件(27.2%)で最も多く、次いで工場22件(21.4%)、共同住宅9件(8.7%)、事務所7件(6.8%)、併用住宅5件(4.9%)、飲食店5件(4.9%)、複合用途(特定)5件(4.9%)、その他22件(21.4%)となっている。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、3月の発生件数が21件で最も多く、10月が6件と最も少ない。

第4表では、市町別の火災発生状況を示している。

(2) 損害額

損害額は10億4,011万円で、これを火災種別ごとにみると、第5図のように建物火災が10億899万円で全体の97%を占め、次いで車両火災約2,257万円(2.2%)となっている。火災1件当たりの損害額は約612万円となる。

第3表の月別火災発生状況表をみると、6月の損害額が約5億9,141万円で最も多く、7月が約171万円で最も少ない。

3 出火原因

全火災の出火原因別状況を表したのが第6図であり、出火原因別損害状況を表したのが第6表である。

第6図をみると、出火原因ではこんろが最も多く15件で8.8%を占め、次いで、たばこ12件(7.1%)、電気機器10件(5.9%)、電灯電話等の配線8件(4.7%)、排気管7件(4.1%)などとなっている。

4 火災による死者の状況

死者の死因別発生状況を表したのが第7表であり、死者の経過別、年齢別発生状況を表したのが第8表である。

第7表をみると、死因では、火傷が3人、自殺が1人となっている。

また、令和元年中の死者に占める高齢者は3人で全体の30%となった。

第1表 1日当たりの損害状況

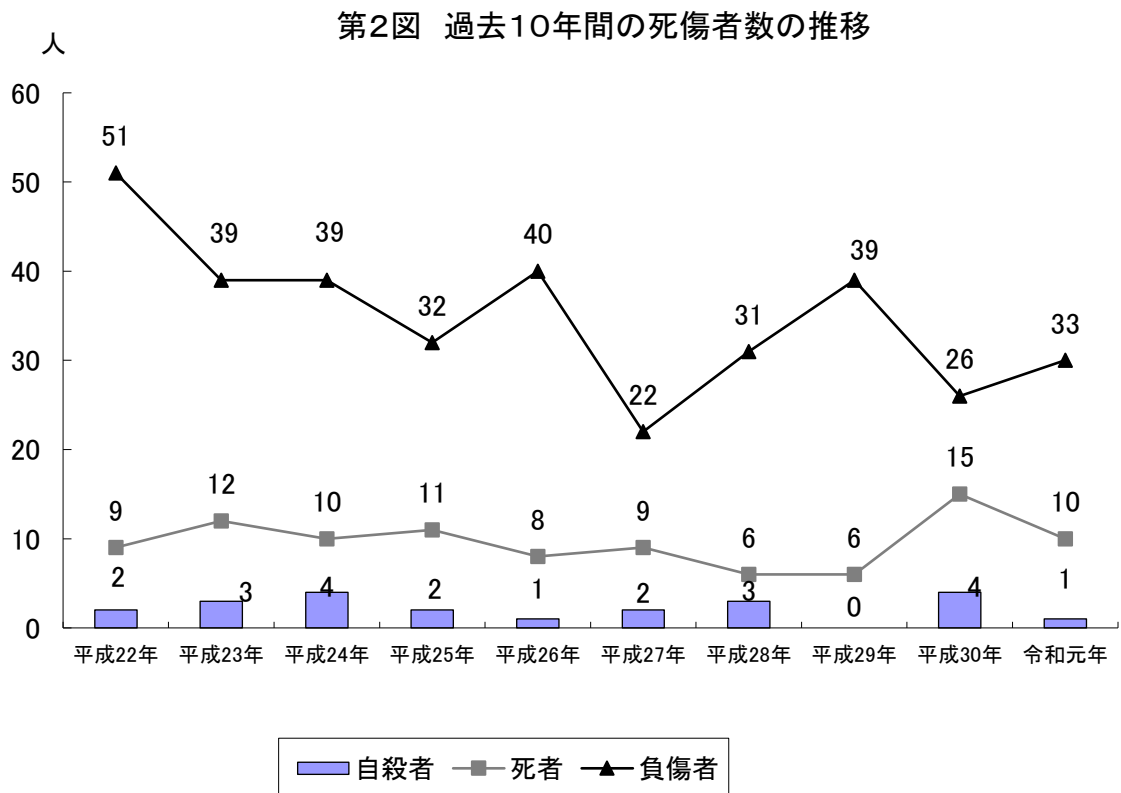
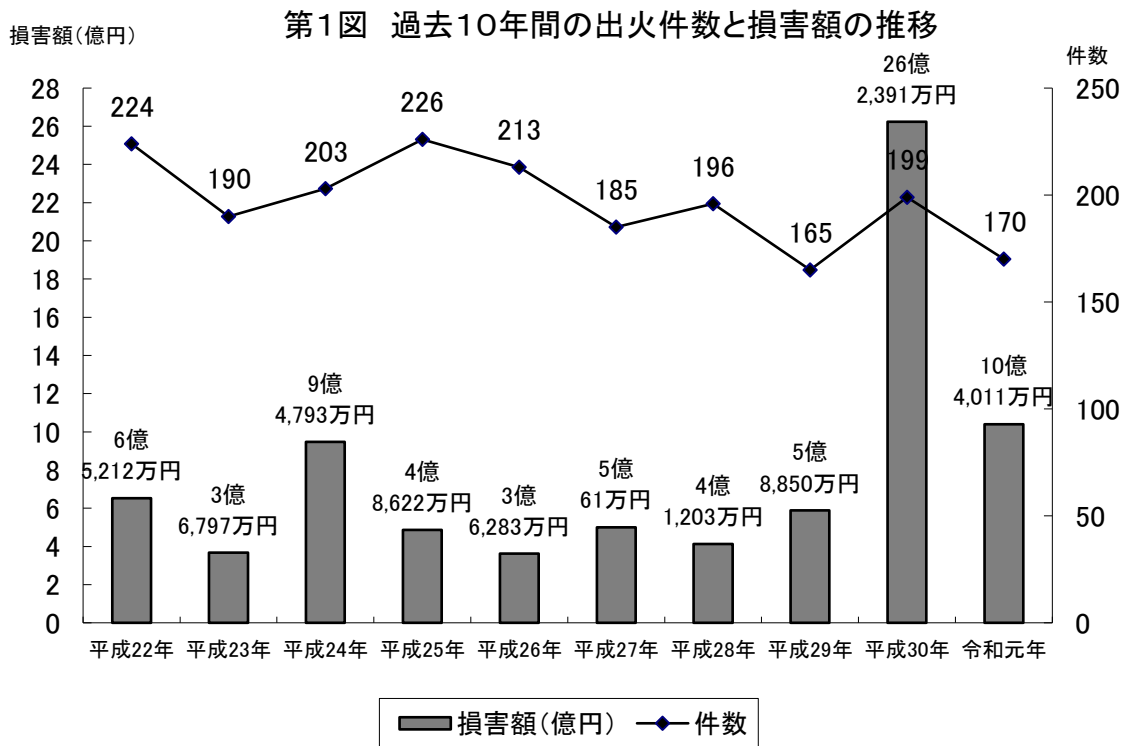
区 分	単位	令和元年 (A)	平成30年 (B)	対前年増加数 (A) - (B)
出 火 件 数	件	0.47	0.55	△0.08
損 害 額	万円	285	719	△434
焼 損 棟 数	棟	0.42	0.51	△0.09
り 災 世 帯 数	世帯	0.24	0.32	△0.08
り 災 人 員	人	0.54	0.84	△0.30

第2表 令和元年火災発生状況と前年比較表

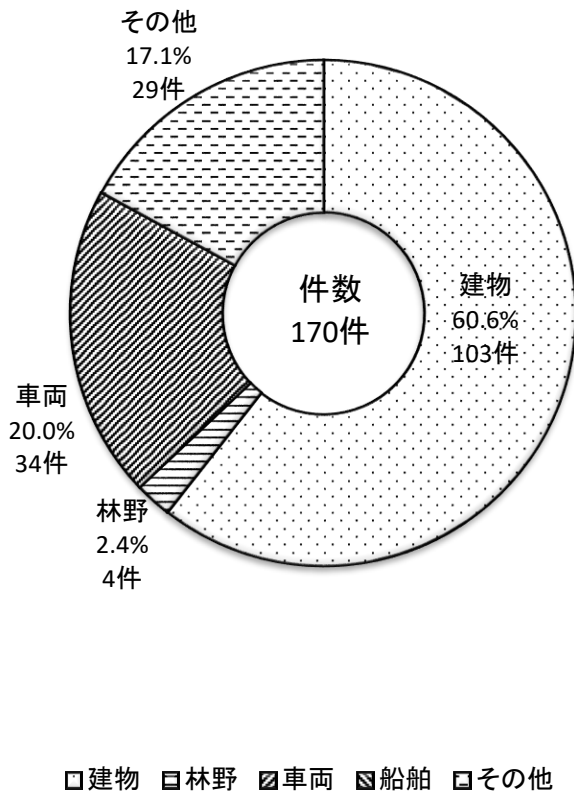
区 分	令和元年(A)	平成30年(B)	対前年増加数 (A) - (B) = (C)
総 出 火 件 数	170	199	△ 29
建 物	103	108	△ 5
林 野	4	4	0
車 両	34	33	1
船 舶	0	1	△ 1
そ の 他	29	53	△ 24
焼 損 棟 数 (棟)	155	185	△ 30
全 焼	36	44	△ 8
半 焼	9	15	△ 6
部 分 焼	42	52	△ 10
ぼ や	68	74	△ 6
り 災 世 帯 数 (世帯)	86	118	△ 32
全 損	20	32	△ 12
半 損	7	10	△ 3
小 損	59	76	△ 17
り 災 人 員 (人)	197	305	△ 108
建 物 焼 損 面 積 (㎡)	11,009	26,530	△ 15,521
林 野 焼 損 面 積 (a)	30	29	1
損 害 額 合 計 (千円)	1,040,114	2,623,913	△ 1,583,799
建 物	1,008,998	2,330,254	△ 1,321,256
林 野	310	578	△ 268
車 両	22,567	32,053	△ 9,486
船 舶	0	116	△ 116
そ の 他	6,066	260,912	△ 254,846
爆 発	2,173	0	2,173
死 者 (人)	10	15	△ 5
() は 放 火 自 殺 者 内 数	(1)	(4)	(△ 3)
建 物	9 (1)	10 (1)	△ 1 0
林 野	0	0	0
車 両	1	0	1 0
船 舶	0	0	0
そ の 他	0	5 (3)	△ 5 (△ 3)
負 傷 者 (人)	33	26	7
建 物	25	22	3
林 野	0	0	0
車 両	4	2	2
船 舶	0	0	0
そ の 他	4	2	2
出 火 率 <small>(人口1万人に対する出火件数)</small>	2.17	2.53	

令和元年人口：平成31年3月31日現在の住民基本台帳人口による。

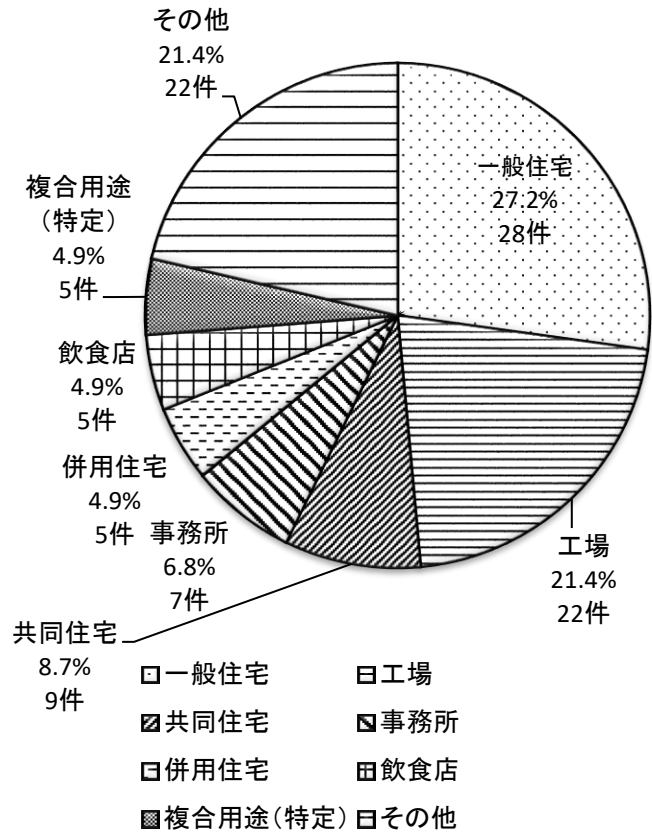
平成30年人口：平成30年3月31日現在の住民基本台帳人口による。



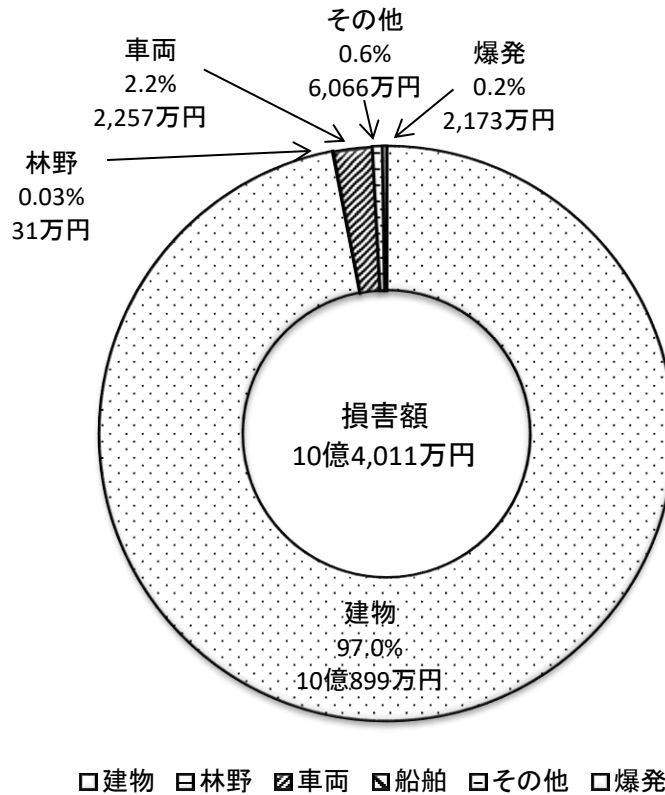
第3図 火災発生件数の内訳



第4図 うち建物火災件数の内訳



第5図 損害額の内訳



第3表 令和元年月別火災発生状況表

月	出火件数(件)					焼損棟数(棟)				焼損面積		り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	死(人) 内は放火自殺者(人)	負傷者(人)	損害額(千円)									
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物(m ²)	林野(a)	合計				全	半	小	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発
1	13	10	0	2	0	1	10	0	1	3	6	41	0	6	0	1	5	14	1(1)	2	5,998	0	194	0	15	0	
2	16	8	0	4	0	4	24	5	1	12	6	1,345	0	12	2	0	10	33	1(0)	0	134,634	0	1,839	0	4,077	0	
3	21	14	1	2	0	4	13	3	0	2	8	802	1	5	1	3	13	0(0)	4	48,076	46,844	37	648	0	4	543	
4	18	8	2	6	0	2	8	1	1	0	6	270	26	4	0	1	3	7	0(0)	5	47,591	42,354	251	4,985	0	1	0
5	16	8	1	0	0	7	10	3	1	3	3	587	3	7	5	0	2	14	1(0)	4	62,672	61,241	22	0	26	1,383	
6	10	9	0	0	0	1	15	7	1	3	4	4,142	0	7	0	1	6	20	4(0)	6	591,405	590,742	0	361	0	55	247
7	13	7	0	6	0	0	8	2	0	0	6	96	0	5	1	0	4	14	0(0)	2	1,709	840	0	869	0	0	0
8	13	6	0	5	0	2	9	2	0	3	4	712	0	6	3	0	3	15	0(0)	3	15,541	11,997	0	2,346	0	1,198	0
9	18	12	0	1	0	5	17	4	2	4	7	494	0	9	3	1	5	25	1(0)	4	39,550	38,524	0	465	0	561	0
10	6	2	0	3	0	1	3	1	0	1	1	155	0	1	0	0	0	4	0(0)	0	18,007	10,250	0	7,756	0	1	0
11	15	11	0	2	0	2	18	5	1	4	8	751	0	9	1	1	7	23	0(0)	2	37,501	36,260	0	1,126	0	115	0
12	11	8	0	3	0	0	20	3	1	7	9	1,614	0	15	3	1	11	15	2(0)	1	37,430	35,439	0	1,978	0	13	0
計	170	103	4	34	0	29	155	36	9	42	68	11,009	30	86	20	7	59	197	10(1)	33	1,040,114	1,008,998	310	22,567	0	6,066	2,173

第4表 市町別火災発生状況表

区分	出火件数(件)							焼損棟数(棟)					り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損		小損
福井市	51	38	0	7	0	0	6	52	10	4	14	24	32	7	4	21	71
敦賀市	12	6	0	4	0	0	2	6	0	2	1	3	4	1	1	2	15
小浜市	15	7	0	4	0	0	4	11	6	1	0	4	5	5	0	0	8
大野市	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
勝山市	6	3	1	0	0	0	2	5	1	0	2	2	4	1	0	3	15
鯖江市	18	15	0	3	0	0	0	15	1	0	2	12	6	1	0	5	17
あわら市	3	3	0	0	0	0	0	11	3	0	5	3	3	1	0	2	10
越前市	18	8	2	4	0	0	4	20	4	2	9	5	17	2	2	13	24
坂井市	23	15	0	4	0	0	4	22	5	0	8	9	12	2	0	10	33
市計	147	95	3	26	0	0	23	142	30	9	41	62	83	20	7	56	193
永平寺町	4	1	0	2	0	0	1	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0
池田町	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南越前町	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0
越前町	3	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
美浜町	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	2	0	0	2	3
高浜町	4	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0
おおい町	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
若狭町 (内訳)	5	1	0	2	0	0	2	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1
旧三方町 敦賀美方消防管轄	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旧上中町 若狭消防管轄	4	1	0	2	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1
町計	23	8	1	8	0	0	6	13	6	0	1	6	3	0	0	3	4
県計	170	103	4	34	0	0	29	155	36	9	42	68	86	20	7	59	197

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載

期間:平成31年1月1日～令和元年12月31日

死傷者数(人)		焼 損 面 積			損 害 額(千円)						
死 者	負 傷 者	建 物 床 (m ²)	建 物 表 (m ²)	林 野 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発
4	9	1,744	375	0	155,456	154,306	0	1,051	0	99	0
0	1	182	7	0	18,616	15,484	0	3,116	0	16	0
0	2	1,143	1	0	74,035	71,008	0	3,022	0	5	0
0	0	0	0	0	4,074	0	0	0	0	4,074	0
1	4	121	14	4	15,007	13,571	52	0	0	1	1,383
0	3	178	6	0	8,459	8,283	0	176	0	0	0
0	0	639	57	0	94,031	93,865	0	163	0	3	0
0	3	2,044	63	25	33,638	30,877	221	1,107	0	1,433	0
0	4	1,226	42	0	66,325	56,008	0	9,110	0	417	790
5	26	7,277	565	29	469,641	443,402	273	17,745	0	6,048	2,173
4	5	3,714	0	0	565,556	565,450	0	106	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	8	8	0	0	0	0	0
0	0	18	0	1	147	70	37	40	0	0	0
0	0	0	0	0	48	48	0	0	0	0	0
0	0	0	4	0	33	16	0	0	0	17	0
1	1	0	0	0	3,247	0	0	3,247	0	0	0
0	1	0	0	0	1,434	4	0	1,429	0	1	0
0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
0	1	0	0	0	1,433	4	0	1,429	0	0	0
5	7	3,732	4	1	570,473	565,596	37	4,822	0	18	0
10	33	11,009	569	30	1,040,114	1,008,998	310	22,567	0	6,066	2,173

第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率

区 分	総計		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
福井市	51	155,456	5	5,479	3	818	6	9,917	8	42,145	5	24,340	3	20,840
敦賀市	12	18,616	1	73	1	35	2	17	3	2,666	2	31	0	0
小浜市	15	74,035	1	9	3	20	1	30,850	1	239	2	36,472	1	2,686
大野市	1	4,074	0	0	1	4,074	0	0	0	0	0	0	0	0
勝山市	6	15,007	0	0	1	0	0	0	2	53	1	1,383	0	0
鯖江市	18	8,459	1	195	1	1	5	6,256	0	0	1	400	0	0
あわら市	3	94,031	0	0	2	94,026	0	0	0	0	1	5	0	0
越前市	18	33,638	1	34	1	288	3	452	1	199	1	22	1	532
坂井市	23	66,325	4	208	1	33,901	1	543	1	700	2	2	3	1,885
市 計	147	469,641	13	5,998	14	133,163	18	48,035	16	46,002	15	62,655	8	25,943
永平寺町	4	565,556	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	565,450
池田町	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
南越前町	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
越前町	3	147	0	0	0	0	1	37	0	0	0	0	0	0
美浜町	2	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高浜町	4	33	0	0	0	0	1	4	1	0	1	17	1	12
おおい町	3	3,247	0	0	1	1,471	0	0	1	1,589	0	0	0	0
若狭町 (内訳)	5	1,434	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旧三方町 <small>敦賀美方消防管轄</small>	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旧上中町 <small>若狭消防管轄</small>	4	1,433	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
町 計	23	570,473	0	0	2	1,471	3	41	2	1,589	1	17	2	565,462
県 計	170	1,040,114	13	5,998	16	134,634	21	48,076	18	47,591	16	62,672	10	591,405

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

出火率(人口1万人に対する出火件数)は、平成31年3月31日現在の住民基本台帳人口により算定

期間:平成31年1月1日～令和元年12月31日

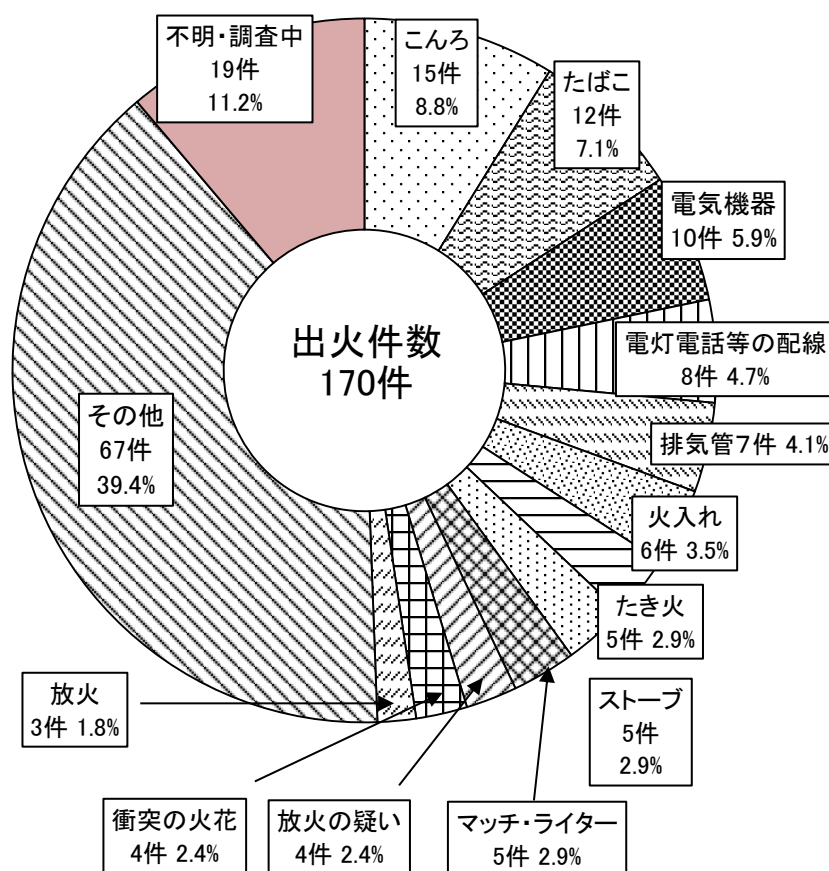
7月		8月		9月		10月		11月		12月		出火率 (人口 1万人に 対する 出火件数)
件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	
5	168	2	5,462	5	489	1	10,150	4	24,084	4	11,564	1.94
0	0	1	462	1	11,669	0	0	1	3,663	0	0	1.83
1	747	2	1,083	0	0	0	0	1	5	2	1,924	5.13
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.30
0	0	0	0	2	13,571	0	0	0	0	0	0	2.59
1	14	1	86	2	1,211	3	114	1	58	2	124	2.59
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.06
1	12	5	8,385	2	247	0	0	1	3	1	23,464	2.18
2	172	1	23	4	12,285	1	7,742	2	8,514	1	350	2.51
10	1,113	12	15,501	16	39,472	5	18,006	10	36,327	10	37,426	2.14
1	31	0	0	0	0	0	0	2	75	0	0	2.16
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.89
0	0	0	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0.94
0	0	1	40	1	70	0	0	0	0	0	0	1.39
0	0	0	0	0	0	0	0	2	48	0	0	2.11
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.84
1	187	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.64
1	378	0	0	0	0	1	1	1	1,051	1	4	3.38
0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
1	378	0	0	0	0	0	0	1	1,051	1	4	
3	596	1	40	2	78	1	1	5	1,174	1	4	2.39
13	1,709	13	15,541	18	39,550	6	18,007	15	37,501	11	37,430	2.17

第6表 全火災の出火原因別損害状況表

期間：平成31年1月1日～令和元年12月31日

出火原因	出火件数(件)	焼損床面積(m ²)	焼損棟数(棟)	り災世帯数(世帯)	損害額(千円)
こ ん ろ	15	430	18	11	42,531
た ば こ	12	265	12	9	19,475
電 気 機 器	10	208	6	2	24,563
電灯電話等の配線	8	998	13	11	61,097
排 気 管	7	0	0	0	912
火 入 れ	6	486	1	0	12,492
た き 火	5	0	0	0	89
ス ト ー ブ	5	563	6	4	29,235
マッチ・ライター	5	0	1	1	1,107
放 火 の 疑 い	4	0	4	0	531
衝 突 の 火 花	4	0	0	0	2,576
放 火	3	0	2	1	30
そ の 他	67	1,996	55	22	192,373
不 明 ・ 調 査 中	19	6,063	37	25	653,103
合 計	170	11,009	155	86	1,040,114

第6図 全火災の出火原因別状況



第7表 死者の死因別発生状況表

死因 火災種別	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折 等	自殺	その他	不明	合計(人)
建 物 火 災	0	3	0	1	0	5	9
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	0	0	0	0	1	0	1
そ の 他 火 災	0	0	0	0	0	0	0
合 計 (人)	0	3	0	1	1	5	10

第8表 死者の経過別および年齢別発生状況表

経過別 年齢別(歳)	0 ～ 5	6 ～ 10	11 ～ 20	21 ～ 30	31 ～ 40	41 ～ 50	51 ～ 60	61 ～ 64	65 ～ 70	71 ～ 80	81～	不明	合計 (人)
熟睡により発見遅れる											1		1
延焼拡大早く避難できず							1				1		2
放火自殺							1						1
その他				1									1
不明・調査中				2			2		1				5
合計(人)	0	0	0	3	0	0	4	0	1	0	2	0	10

第3章 救急業務の実態

1 救急体制

災害により生じた事故もしくは屋外もしくは公衆の出入りする場所、または屋内において生じた事故で、迅速に搬送する手段がない場合に傷病者を医療機関等へ搬送する業務が救急業務であるが、令和2年4月1日現在、第1表のとおり、救急自動車56台(うち高規格救急自動車56台)、救急隊員531名(うち救急救命士244名)で救急業務にあたっている。

2 救急医療体制

救急隊が搬送する傷病者を受け入れる救急告示医療機関数は、令和2年4月1日現在、第2表のとおり51施設である。

3 救急活動状況

救急活動状況を表したのが第3表であり、救急出場件数は30,091件、搬送人員は28,613人となっている。県内1日あたりの出場件数は約82件となり、約18分に1回の割合で救急隊が出場したことになる。

過去10年間の出場件数および搬送人員の推移を表したのが第1図であり、出場件数、搬送人員ともに平成30年まで増加傾向にあったが、令和元年は災害や猛暑による救急需要が少なかったこともあり、いずれも前年比で約3%の減少となった。

出場件数、搬送人員の事故種別内訳を表したのが第2図、第3図であり、出場件数の事故種別内訳では、急病が18,600件で、全体の61.8%を占め、次いで一般負傷4,703件(15.6%)、交通事故2,389件(7.9%)などとなっている。搬送人員では急病が17,521人で全体の61.2%を占め、次いで一般負傷4,514人(15.8%)、交通事故2,584人(9.0%)などとなっている。

第1表 救急体制状況表

令和2年4月1日現在

消防(局)本部名	救急自動車			救急隊員					
	高規格救急車	通常型	合計	専任		兼任		合計	
				救急救命士		救急救命士		救急救命士	
福井市	11	0	11	54	38	27	18	81	56
大野市	4	0	4			46	17	46	17
勝山市	3	0	3			28	9	28	9
永平寺町	3	0	3			36	14	36	14
嶺北消防組合	8	0	8			90	35	90	35
鯖江・丹生消防組合	6	0	6			90	35	90	35
南越消防組合	8	0	8			74	27	74	27
敦賀美方消防組合	6	0	6	18	14	18	13	36	27
若狭消防組合	7	0	7	7	5	43	19	50	24
合計	56	0	56	79	57	452	187	531	244

第2表 医療機関状況表

令和2年4月1日現在

告示別	種別	国・公立	公的	私的		合計
				病院	診療所	
救急告示医療機関		7	5	28	11	51
その他の医療機関		14	7	24	473	518
合計		21	12	52	484	569

第3表 救急活動状況表

(令和元年中)

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
救急出場件数	30,091	103	1	62	2,389	364	223	4,703	70	202	18,600	3,374
搬送人員	28,613	20	1	24	2,584	364	226	4,514	60	127	17,521	3,172

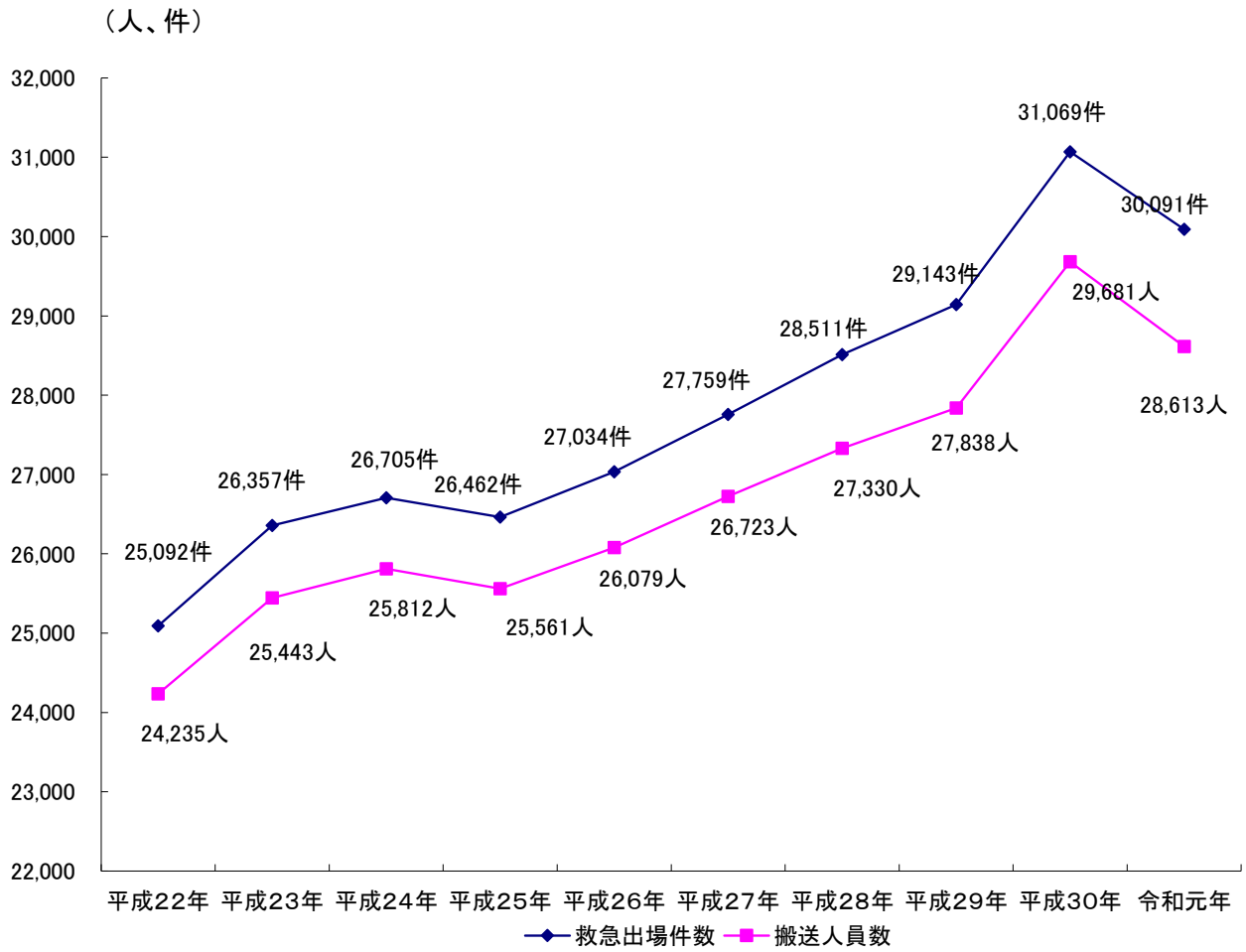
第4表 高速自動車道における救急活動状況表

(令和元年中)

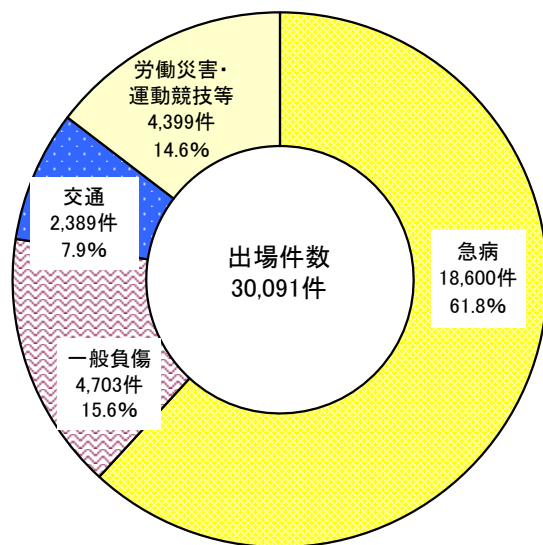
高速道路名	北陸自動車道										小計
担当消防本部名	嶺北消防組合消防本部		福井市消防局		鯖江・丹生消防組合消防本部		南越消防組合消防本部		敦賀美方消防組合消防本部		
I C 名	金津	丸岡	福井北	福井	鯖江	武生	今庄	敦賀			
救急出動数	4	10	3	5	8		17	27	27		101
搬送人員	3	10	3	5	9		17	29	30		106

高速道路名	舞鶴若狭自動車道										小計	計
担当消防本部名	敦賀美方消防組合消防本部					若狭消防組合消防本部						
I C 名	舞鶴美浜	若狭三方	敦賀南	三方五湖	大飯高浜	小浜西	小浜	若狭上中	三方五湖			
救急出動数	2	1	5	3	3	0	2	0	0	16	117	
搬送人員	2	1	3	3	5	0	1	0	0	15	121	

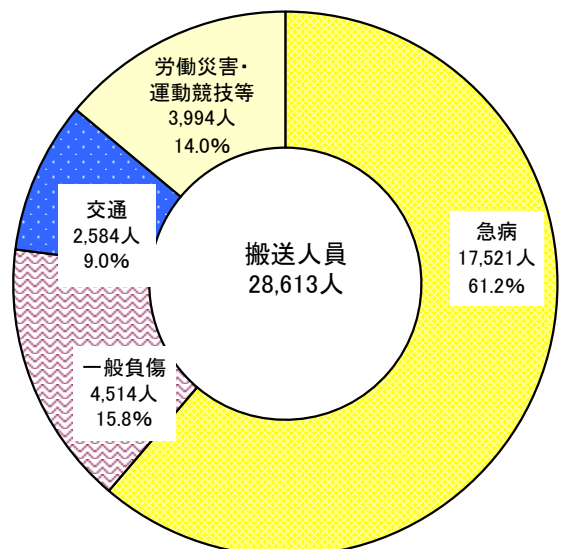
第1図 過去10年間の救急活動の推移



第2図 出場件数の事故種別内訳



第3図 搬送人員の事故種別内訳



第4章 予 防 行 政 の 概 況

1 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の人が出入りするなど一定の防火対象物について、所有者や賃借人等のうち管理について権原を有する人が、火災予防のために資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告する制度である。

この制度による平成31年4月1日から令和2年3月31日までの状況は第1表のとおりである。

第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表

防火対象物の区分			点検を要する 防火対象物数		点検報告済 防火対象物数		特例認定済 防火対象物数	
			第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当
1	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場	33		14		7	
	ロ	公会堂または集会場	219	1	102	1	40	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの						
	ロ	遊技場またはダンスホール	56		34		8	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	3		3			
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	3	9	3	3		
	ロ	飲食店	6	43	5	10		
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗または展示場	186	18	120		10	1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	39	81	21	22	10	24
6	イ	病院、診療所または助産所	36	7	19	2	10	4
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、精神障害者社会復帰施設等	5	4	2	1	3	
	ハ	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、精神障害者社会復帰施設（軽微）等	2	3	3	1	1	
	ニ	幼稚園または特別支援学校	2		1			
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	3				1	
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が上記に該当する用途に供されているもの	205	43	102	9	29	3
16の2		地下街						
合 計			798	209	429	49	119	32

【備考】

- ・点検報告済防火対象物とは、1年に1回、防火対象物点検資格者による点検報告が必要なもので、点検の結果、点検基準に適合していると認められた防火対象物。「防火基準点検済証」を表示することができる。
- ・特例認定済防火対象物とは、一定の要件を満たしているもので、申請によって点検報告の義務が3年間免除される防火対象物「防火優良認定証」を表示することができる。
- ・第1号該当とは、収容人員が300人以上の防火対象物
- ・第2号該当とは、収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で次の要件に該当する防火対象物
 - 特定用途部分が地階または3階以上に存するもの（避難階は除く）
 - 階段が2以上設けられていないもの
- ・調査基準日…令和2年3月31日
- ・調査期間……平成31年4月1日～令和2年3月31日

2 消防設備士試験および講習の状況

消防設備士は、甲種・乙種合わせて651人の受験者に対して249人が合格し、合格率は38.2%であった。その状況は第2表のとおりである。

また、免状所有者に対する義務講習は611人が受講した。その状況は第3表のとおりである。

第2表 消防設備士試験実施状況表

試験日：令和元年8月25日（日）

令和2年2月16日（日）

区 分	令和元年度								免状交付延べ数	
	受験者数（人）		合格人数（人）		合格率（%）		免状交付数			
	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
特 類	2		0		0.0%		0		19	
第 1 類	61	18	12	5	19.7%	27.8%	9	3	1,265	315
第 2 類	14	9	6	5	42.9%	55.6%	4	6	366	340
第 3 類	24	8	12	2	50.0%	25.0%	12	2	292	111
第 4 類	159	69	48	30	30.2%	43.5%	47	28	2,863	68
第 5 類	22	7	5	0	22.7%	0.0%	3	0	315	1155
第 6 類		170		65		38.2%		64		127
第 7 類		88		59		67.0%		45		3,316
計	282	369	83	166	29.4%	45.0%	75	148	5,120	5,432

第3表 消防設備士法定講習実施状況表

区 分	受 講 対 象 者 区 分	受講者数（人）	実 施 年 月 日
消 火 設 備	(甲・乙)第1類, 第2類, 第3類 消防設備士	115	令和元年8月27日（火）
避難設備・消火器	(甲・乙)第5類, (乙)第6類 消防設備士	163	令和元年8月28日（水）
警 報 設 備	(甲・乙)第4類, (乙)第7類 消防設備士	333	令和元年8月29日（木） 令和元年8月30日（金）
合 計		611	

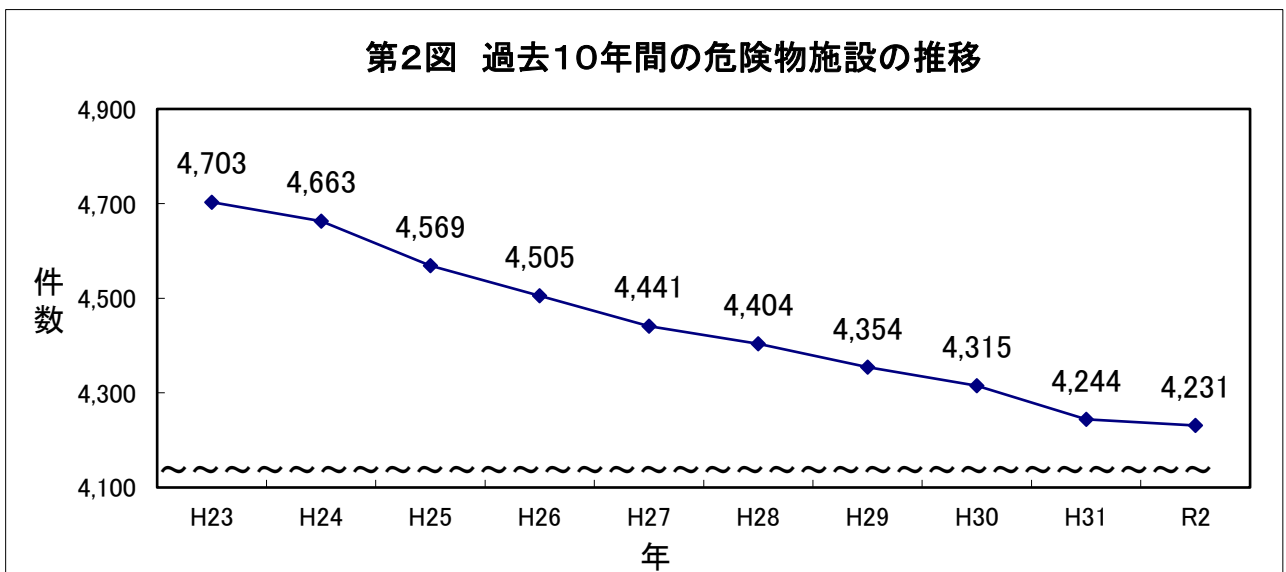
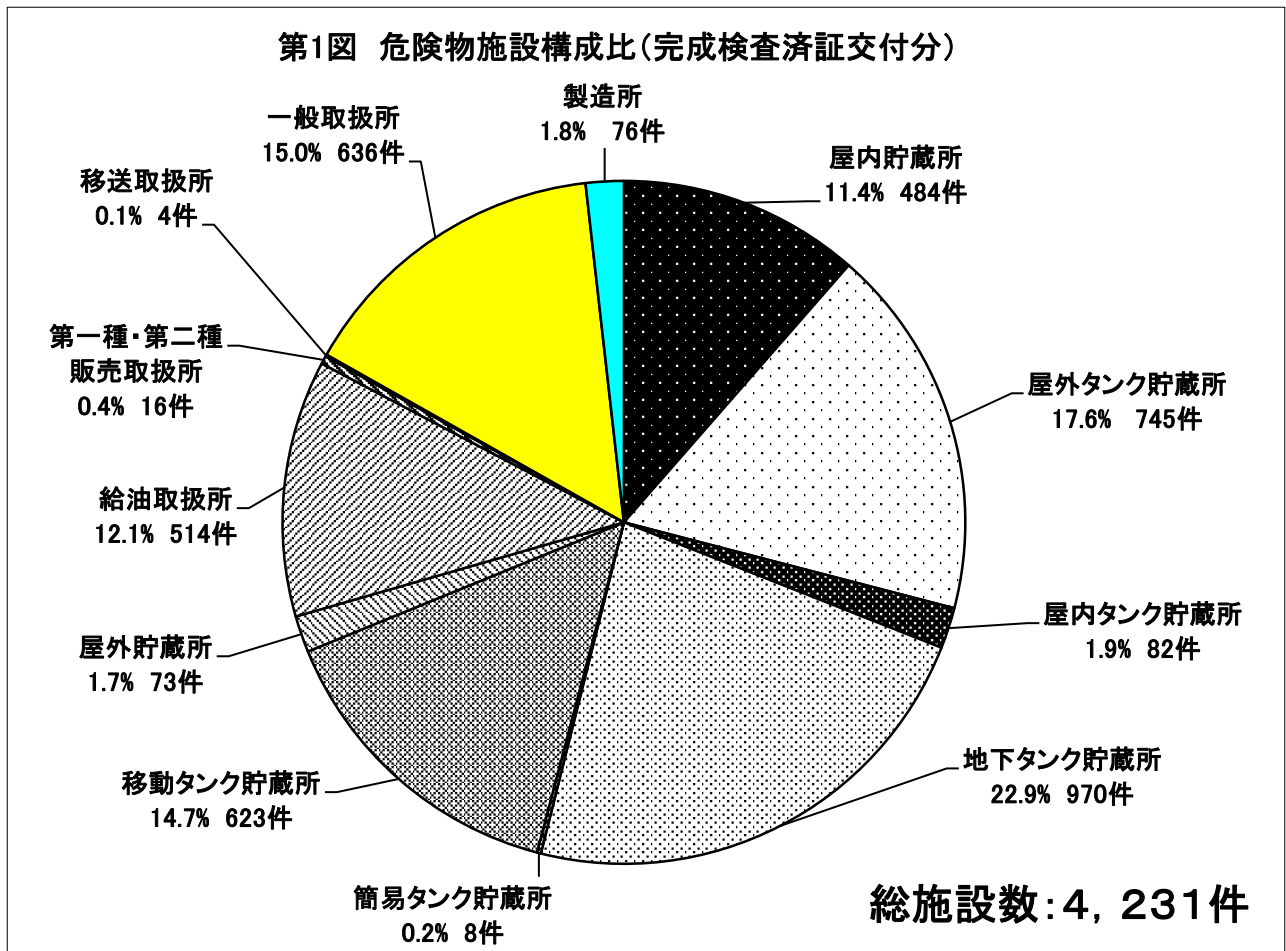
第5章 危険物規制

1 概況

(1) 危険物規制は、福井市、大野市、勝山市および永平寺町においては当該市町が、またその他の市町においてはそれぞれの加入する消防組合が行なっている。

なお、県内の総施設数は第1図のとおりである。(令和2年3月31日現在)

(2) 危険物の総施設数の推移は第2図のとおり減少傾向であり、前年に対し13件減少している。



第1表 施設別危険物施設数

令和2年3月31日現在

危険物施設の別 消防(局)本部名	製 造 所 (A)	貯 蔵 所										取 扱 所					合 計 (A + B + C)	事 業 所	
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	準 特定 屋外 タンク 貯蔵所	特 定 屋外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所			小 計 (C)
福 井 市	21	109	190	5	20	27	259	1	167	18	771	131	8	0	1	139	279	1,071	517
大 野 市	0	8	15	0	0	0	50	0	34	0	107	24	0	0	0	26	50	157	92
勝 山 市	3	8	28	0	0	1	44	0	19	2	102	17	0	0	0	20	37	142	80
永 平 寺 町	0	4	5	0	0	2	21	0	15	0	47	7	0	0	0	11	18	65	37
嶺北消防組合	31	99	182	3	36	11	171	1	113	22	599	89	0	0	2	165	256	886	317
鯖江・丹生消防組合	5	61	60	0	0	6	112	0	47	9	295	43	3	4	0	49	99	399	276
南越消防組合	12	74	109	0	0	11	115	2	79	84	474	64	0	0	0	75	139	625	248
敦賀美方消防組合	1	58	103	7	8	14	123	0	92	5	395	92	0	0	1	94	187	583	225
若狭消防組合	3	63	53	0	0	10	75	4	52	2	259	50	1	0	0	57	108	370	154
合 計	76	484	745	15	64	82	970	8	618	142	3,049	517	12	4	4	636	1,173	4,298	1,946

- 注：1 貯蔵所および取扱所の区分は危険物の規制に関する政令の区分による（以下の表においても同様）。
- 2 本表には、設置を許可した施設のうち、完成検査済証を交付した施設数から廃止届を受理した施設数を除いた数を記載（以下の表においても同様）
- 3 準特定屋外タンク貯蔵所には、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が五百キロリットル以上千キロリットル未満のものを記載（以下の表においても同様）
- 4 特定屋外タンク貯蔵所数は、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が千キロリットル以上のものを記載（以下の表においても同様）
- 5 事業所数は、危険物施設を有する事業所の数を記載

第2表 指定数量別および類別危険物施設数

令和2年3月31日現在

危険物施設の別 数量別・類別	製 造 所 (A)	貯 蔵 所									取 扱 所						合 計 (A + B + C)		
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	準 特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計 (C)	
5倍以下	3	215	130			57	523	8	470	19	1,422	38	6			273	317	1,742	
5倍を超えて10倍以下	7	112	103			20	226		16	24	501	54	3			155	212	720	
10 " 50 "	37	87	254			5	159		23	27	555	134	3	4		125	266	858	
50 " 100 "	14	20	87				34		88	2	231	72				36	108	353	
100 " 150 "	3	25	45				15		25		110	53				17	70	183	
150 " 200 "		9	8	1			5			1	23	59				8	67	90	
200 " 1,000 "	12	14	52	9	3		8		1		75	104				15	119	206	
1,000 " 5,000 "		2	25	5	20						27					3	3	30	
5,000 " 10,000 "			3		3						3					2	2	5	
10,000倍を超えるもの			38		38						38				4	2	6	44	
合 計	76	484	745	15	64	82	970	8	623	73	2,985	514	12	4	4	636	1,170	4,231	
単 独	第 1 類	1	10								10							11	
	第 2 類	1	4								4					3	3	8	
	第 3 類		3								3					5	5	8	
	第 4 類	52	423	741	15	64	82	970	8	623	72	2,919	514	12	4	4	602	1,136	4,107
	第 5 類		17	2							19								19
	第 6 類			2							2								2
混 在	22	27								1	28					26	26	76	
合 計	76	484	745	15	64	82	970	8	623	73	2,985	514	12	4	4	636	1,170	4,231	

注：1 数量別の欄は、危険物施設で貯蔵または取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を指定数量の倍数によって表したものである。
 2 類別の欄の単独には、類を同じくする危険物のみを貯蔵または取り扱っている危険物施設の数、混在には、類を異にする危険物を貯蔵または取り扱っている危険物施設の数に記載

第3表 危険物施設に対する立入検査状況

平成31年4月1日から
令和2年3月31日まで

危険物施設の別 消防(局)本部名		製 造 所 (A)	貯 蔵 所								取 扱 所					合 計 (A + B + C)	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計 (C)
福 井 市	検査施設数	21	101	186	22	237	1	171	13	731	129	6		1	130	266	1,018
	延回数	23	105	188	22	247	1	182	13	758	175	6		1	139	321	1,102
大 野 市	検査施設数					8		29		37	1					1	38
	延回数					8		29		37	1					1	38
勝 山 市	検査施設数	2	2	9	1	29		19	1	61	16				20	36	99
	延回数	2	2	9	1	29		19	1	61	16				20	36	99
永 平 寺 町	検査施設数		4	5	2	21		15		47	7				11	18	65
	延回数		4	5	2	21		15		47	7				11	18	65
嶺北消防組合	検査施設数	23	55	106	5	109	1	116	15	407	78			2	101	181	611
	延回数	23	55	106	5	109	1	116	15	407	79			2	101	182	612
鯖江・丹生消防組合	検査施設数	1	11	21		28		48	2	110	3				19	22	133
	延回数	1	11	21		28		48	2	110	3				19	22	133
南越消防組合	検査施設数	1	3	4		16		67		90	34				15	49	140
	延回数	1	3	4		16		71		94	35				15	50	145
敦賀美方消防組合	検査施設数	1	6	32	6	51		97		192	35				32	67	260
	延回数	1	6	32	6	51		97		192	35				32	67	260
若狭消防組合	検査施設数		13	23	3	28	2	45		114	29				25	54	168
	延回数		13	24	3	28	2	45		115	29				25	54	169
合 計	検査施設数	49	195	386	39	527	4	607	31	1,789	332	6		3	353	694	2,532
	延回数	51	199	389	39	537	4	622	31	1,821	380	6		3	362	751	2,623

注：1 検査施設数の欄は、立入検査を行った施設数を危険物施設の区分ごとに記載
2 延回数の欄は、立入検査を行った延回数を危険物施設の区分ごとに記載

第4表の1 容量別屋外タンク貯蔵所数

令和2年3月31日現在

消防(局)本部名 容量別	福	大	勝	永	嶺	鯖	南	敦	若	合
	井	野	山	平	北	江・	越	賀	狭	計
	市	市	市	町	消	・丹	消	美	消	
					防	生	防	方	防	
					組	消	組	消	組	
					合	防	合	防	合	
					合	組	合	組	合	
						合				
100kl未満	148	15	28	5	130	43	103	63	47	582
100kl～500kl未満	17	0	0	0	17	17	10	25	6	92
500kl～1,000kl未満	5	0	0	0	3	0	0	7	0	15
1,000kl～5,000kl未満	0	0	0	0	21	0	0	8	0	29
5,000kl～10,000kl未満	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
10,000kl～50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50,000kl～100,000kl未満	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
100,000kl以上	20	0	0	0	10	0	0	0	0	30
合計	190	15	28	5	186	60	113	103	53	753

第4表の2 品名別屋外タンク貯蔵所数

令和2年3月31日現在

品名別 容量別	第4類										第4類以外の類(B)	合計(A+B)
	原	ナ	ガ	灯	軽	重	第4	アル	そ	小		
	油	フ	ソ	油	油	油	石	コ	の	計		
		サ	リ				油	ール	他	(A)		
			ン				類	ル)		
100kl未満	0	0	0	75	35	172	18	54	212	566		566
100kl～500kl未満	0	0	0	3	16	41	7	0	24	91		91
500kl～1,000kl未満	3	0	1	0	1	7	0	0	3	15		15
1,000kl～5,000kl未満	0	0	6	3	4	9	0	0	7	29		29
5,000kl～10,000kl未満	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2		2
10,000kl～50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
50,000kl～100,000kl未満	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3		3
100,000kl以上	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30		30
合計	33	0	7	83	56	232	25	54	246	736	0	736

第5表 危険物取扱者試験実施状況

区 分 種 別		平成28年度 合 格 率 (%)	平成29年度 合 格 率 (%)	平成30年度 合 格 率 (%)	令和元年度		
					受 験 者 数 (人)	合 格 者 数 (人)	合 格 率 (%)
甲 種		32.1	30.9	37.9	159	63	39.6
乙 種	第 1 類	65.9	60.4	63.0	189	129	68.3
	第 2 類	76.0	74.1	71.8	174	116	66.7
	第 3 類	68.1	63.8	59.6	188	132	70.2
	第 4 類	27.0	34.3	37.8	2,570	997	38.8
	第 5 類	68.1	66.4	65.0	192	138	71.9
	第 6 類	66.5	58.5	63.2	226	133	58.8
	小 計	39.2	43.8	45.4	3,539	1,645	46.5
丙 種		57.5	58.7	51.2	537	263	49.0
合 計		41.0	45.3	46.0	4,235	1,971	46.5

第6表 危険物取扱者保安講習実施状況

区 分 講習種別		平成28年度 受 講 者 数 (人)	平成29年度 受 講 者 数 (人)	平成30年度 受 講 者 数 (人)	令和元年度	
					受 講 者 数 (人)	講 習 実 施 回 数 (回)
給 油 取 扱 所		456	410	425	461	8
石 油 コ ン ビ ナ ー ト		50	56	44	51	1
そ の 他		1,471	1,456	1,647	1,584	11
合 計		1,977	1,922	2,116	2,096	20

- 注：1 「給油取扱所」は、給油取扱所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 2 「石油コンビナート」は、石油コンビナート等災害防止法上の特定事業所における危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 3 「その他」は、「給油取扱所」および「石油コンビナート」以外の危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

2 危険物施設の火災および漏えい事故等

- (1) 過去5年間における危険物の災害事故発生件数は、平成28年が9件と最も多い。
 (2) 過去5年間の危険物施設別の災害事故発生件数は、移動タンク貯蔵所での事故が12件と最も多い。

第7表 過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数

年	危険物施設の別 内 訳	製 造 所 (A)	貯蔵所							取扱所					そ の 他 (D)	合 計 (A+B+C+D)	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所			一 般 取 扱 所
平成27年	火災	1							0						0		1
	漏えい							2	2	1				1	2		4
	その他			1					1						0		1
平成28年	火災								0					4	4		4
	漏えい							1	1					1	1		2
	その他							2	2					1	1		3
平成29年	火災	1							0						0		1
	漏えい					1			1						0		1
	その他								0					1	1		1
平成30年	火災								0					1	1		1
	漏えい							2	2	1					1		3
	その他	1							0	1					1		2
令和元年	火災	3							0						0		3
	漏えい							3	3						0		3
	その他							2	2						0		2
火災計		5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	10
漏えい計		0	0	0	0	1	0	8	0	9	2	0	0	2	4	0	13
その他計		1	0	1	0	0	0	4	0	5	1	0	0	2	3	0	9
総計		6	0	1	0	1	0	12	0	14	3	0	0	9	12	0	32

注： 危険物施設の別の「その他」には、危険物運搬中の事故または無許可の危険物施設など、許可を受けている危険物施設以外での事故件数を記載

第6章 消防の概要

1 消防の組織〈消防機関と人員〉

昭和23年消防組織法施行後、市町村消防の原則が確立され、昭和48年7月1日大野地区消防組合が発足したことにより、県下全域にわたり消防の常備化が実現した。消防吏員は令和2年4月1日現在で1,246名である。

また、消防団員数は令和2年4月1日現在で5,814名であるが、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等の課題に直面しており、消防団の充実強化を一層推進することが必要である。

2 消防施設

(1) 消防機械

消防機械の保有状況は第8表および第9表のとおりであるが、特に近年の救急需要の増加に伴い、各消防本部とも高規格救急自動車の導入を推進している。これにより、高度な救急処置を実施することができ、救命率の向上を図っている。

(2) 消防水利

消防水利は、消防機械とともに、火災鎮火のために重要不可欠なものである。

これについては、消防に必要な水利の確保と管理のため「消防水利の基準」が定められ、その基準に適合したものを消防水利としている。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と河川等の自然水利があり、その保有状況は第11表のとおりである。

3 民間防火組織

(1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期における防火教育の重要性、防火活動を通じての正しい社会的態度の養成の必要性などの観点からはじめられたもので、幼稚園、保育園の指導者を中心に消防機関の協力を得て幼年消防活動を行うことにより、父母兄弟や近隣住民に対する防火思想の普及も効果的に図られている。

(2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、少年のころから火災予防に関する知識を身に付け、学校や各家庭における火災防止を図るとともに、火に関する諸原理を実際に即して勉強し、学校教育としての社会科、理科および家庭科の学習の補助を目的とするものであって、昭和25年に少年消防クラブ取扱要綱が制定され、続いて昭和28年に「全国少年消防クラブ運営指導協議会」（会長：消防庁長官）が設けられ、今日に至っている。

(3) 女性防火クラブ

女性防火クラブは、家庭において火を使用する機会の多い女性を対象に、火災予防の知識を養うことが必要であることから、任意に結成されたものであり、消防職団員の指導のもとに各家庭の防火診断、火災の初期活動等、重要な役割を果たしている。

4 表 彰

消防職員および消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の消防に対する正しい認識と円滑な協力援助関係を確立するため、消防に関して功労のあった消防職団員、消防機関その他の団体または個人に対し、各種表彰を行っている。

また、昭和58年より新たに県知事の定例表彰の中で、30年以上勤続の消防団員の配偶者等も表彰することにした。

5 消防の現況

第1表 消防職団員数の推移(各年4月1日現在)

区分	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
消防職員数	150	163	203	201	231	227	262	257	268	293	328	351	354	372	381	421	461	521	594
消防団員数	11,835	10,701	8,487	8,275	8,091	7,342	7,174	7,147	7,118	6,744	6,759	6,731	6,751	6,754	6,491	6,388	6,303	6,191	6,019

47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
693	743	785	785	832	851	872	895	922	937	950	974	974	982	982	983	999	1,009	1,010	1,032	1,052
5,814	5,703	5,647	5,635	5,633	5,623	5,629	5,616	5,549	5,623	5,616	5,608	5,588	5,549	5,545	5,485	5,471	5,453	5,437	5,488	5,492

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1,090	1,101	1,119	1,141	1,162	1,169	1,183	1,186	1,190	1,188	1,190	1,193	1,192	1,190	1,189	1,184	1,183	1,180	1,192	1,196	1,189
5,497	5,519	5,502	5,533	5,523	5,518	5,497	5,499	5,483	5,460	5,436	5,439	5,442	5,406	5,411	5,411	5,480	5,560	5,656	5,688	5,661

26	27	28	29	30	令和元	2
1,188	1,206	1,206	1,226	1,238	1,235	1,246
5,720	5,797	5,781	5,809	5,825	5,824	5,814

第2表 消防機関の現況

区 分		平成31年4月(A)	令和2年4月(B)	増減(B-A)
消 防 本 部 ・ 署	消 防 本 部 数	9	9	0
	消 防 署 数	19	19	0
	出 張 所 数	28	28	0
	消 防 職 員 数	1,235	1,246	11
消 防 団	消 防 団 数	18	18	0
	分 団 数	237	238	1
	消 防 団 員 数	5,824	5,814	△ 10

第3表 消防の概況

令和2年4月1日現在

区分	消防本部・署所						消防団					消防水利			基地局および固定局	移動局			
	設置別	消防署数	出張所数	消防実吏員数	普通消防ポンプ数	水槽付消防ポンプ数	消防団数	分団数	消防団常備部数	団員数		普通自動車ポンプ数	小型動力ポンプ積載車	付小型動力ポンプ積載車			火栓（公設）	防火水槽	
										計	常勤							非常勤	40以上
消防(局)本部名	○	4	15	372	20	3	1	54		1,010	1	52	41	9,569	823	30	15	174	
福井市	○	1	1	55	4		1	10	455	10	22		481	293	26		3	37	
大野市	○	1		38	2	1	1	12	295	2	11		432	200	13		16	42	
勝山市	○	1		41		3	1	11	262	10	11		177	253	11		3	27	
永平寺町	○	4	1	200	6	4	2	33	710	35	7		1448	1,251	103		4	131	
嶺北消防組合	○	1	4	119	5	1	2	36	575	34	3		1658	894	39		5	98	
鯖江・丹生消防組合	○	3	2	151	7	4	3	33	809	12	27	1	2506	688	32		7	155	
南越消防組合	○	3	1	147	3	4	3	16	732	23	31	6	1301	223	164		8	137	
敦賀美方消防組合	○	1	4	123	7	3	4	33	966	9	44	46	1079	504	58		6	135	
若狭消防組合	1	8	19	1,246	54	23	18	238	5,814	136	208	97	18,651	5,129	476		67	936	
計																			

第4表 階級別消防職員数

令和2年4月1日現在

区分	消防職員														条 例 定 数		
	消防吏員(実員)										その他の職員						
	うち女性 (B) +	消防司監 (A) =	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計(B)	事務職員	技術職員	単 純 労 務 職 員		小計(C)	
消防(局)本部名																	
福井市	6 ()	1 ()	6 ()	25 ()	80 ()	69 (1)	49 (2)	73 ()	69 (2)	372 (5)	8 (1)	()	()	()	8 (1)	356	
大野市	2 ()	()	()	1 ()	9 ()	17 ()	10 ()	6 (1)	12 ()	55 (1)	1 (1)	()	()	()	1 (1)	55	
勝山市	1 ()	()	()	4 ()	4 ()	15 ()	2 (1)	8 ()	5 ()	38 (1)	2 ()	()	()	()	2 (0)	42	
永平寺町	1 ()	()	()	3 ()	6 ()	13 ()	3 ()	6 ()	10 (1)	41 (1)	()	()	()	()	0 (0)	45	
嶺北消防組合	9 ()	1 ()	3 ()	7 ()	37 ()	42 ()	38 ()	33 (2)	39 (4)	200 (6)	3 (3)	()	()	()	3 (3)	206	
鯖江・丹生消防組合	6 ()	()	1 ()	11 ()	31 ()	23 (2)	18 ()	16 (1)	19 (2)	119 (5)	2 (1)	()	()	()	2 (1)	120	
南越消防組合	6 ()	()	1 ()	10 ()	36 ()	34 (3)	26 (1)	18 ()	26 (1)	151 (5)	4 (1)	()	()	()	4 (1)	154	
敦賀美方消防組合	2 ()	()	1 ()	11 ()	25 ()	25 ()	28 ()	30 ()	27 (1)	147 (1)	1 (1)	()	()	()	1 (1)	156	
若狭消防組合	1 ()	()	1 ()	7 ()	28 ()	22 ()	13 (1)	27 ()	25 ()	123 (1)	1 ()	()	()	()	1 (0)	130	
計	1,268 (0)	2 (0)	13 (0)	79 (0)	256 (0)	260 (6)	187 (5)	217 (4)	232 (11)	1,246 (26)	22 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	22 (8)	1,264	

注1: 下段の()は、女性職員の内数

注2: 条例定数に含まれない派遣・出向職員および短時間勤務の再任用職員がいるため、条例定数を超えている場合がある。

第5表 階級別非常勤消防団員数

令和2年4月1日現在

階級別 消防(局)本部	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	条約定数
福井市	1010 (48)	1 ()	8 ()	54 (2)	54 (2)	102 (4)	103 (5)	688 (35)	1,055
大野市	455 (100)	1 ()	2 ()	10 (1)	11 (2)	35 (3)	70 (6)	326 (88)	485
勝山市	295 (25)	1 ()	2 ()	12 ()	12 ()	25 (1)	34 (2)	209 (22)	299
永平寺町	262 (19)	1 ()	2 ()	11 (1)	11 (1))	34 (1)	203 (16)	315
嶺北消防組合	710 (20)	2 ()	7 ()	33 ()	52 ()	2 (2)	63 (2)	551 (16)	773
鯖江・丹生消防組合	575 (21)	2 ()	5 ()	34 ()	34 ())	81 (1)	419 (20)	647
南越消防組合	809 (52)	3 ()	9 ()	32 (2)	32 (2))	83 (5)	650 (43)	826
敦賀美方消防組合	732 (29)	3 ()	4 ()	16 ()	16 ()	52 (1)	87 (3)	554 (25)	761
若狭消防組合	966 (30)	4 ()	6 ()	33 ()	23 ()	54 (1)	97 (1)	749 (28)	970
計	5,814 (344)	18 (0)	45 (0)	235 (6)	245 (7)	270 (12)	652 (26)	4,349 (293)	6,131

注：下段の()は、女性団員の内数

第6表 年齢別消防吏員および消防団員数

令和2年4月1日現在

年齢別 消防(局)本部名	消 防 団 員										消 防 吏 員																				
	(C)のうち										団員数 (C)	(A)のうち										平均年齢 (B)									
	年齢合計 (D)											平均年齢 (A)																			
	18歳 〜 19歳	20歳 〜 24歳	25歳 〜 29歳	30歳 〜 34歳	35歳 〜 39歳	40歳 〜 44歳	45歳 〜 49歳	50歳 〜 54歳	55歳 〜 59歳	60歳 〜 64歳			65歳 以上																		
福井市	0	11	34	53	126	161	190	164	133	115	23	47,935	39.9	72	39	57	37	25	42	44	25	37	57	39	72	14,847	1,010	39.9	14,847	1,010	39.9
大野市	0	4	12	46	48	84	79	69	58	43	12	21,468	38.5	8	5	10	5	8	8	8	5	10	5	8	5	8	455	38.5	2,116	455	38.5
勝山市	0	5	6	18	50	53	52	34	43	31	3	13,610	41.5	4	2	13	6	13	7	1	7	1	6	13	2	4	295	41.5	1,576	295	41.5
永平寺町	4	15	15	19	40	53	57	28	21	10	0	11,216	36.9	4	2	8	8	6	4	6	1	8	8	2	4	262	36.9	1,513	262	36.9	
嶺北消防組合	5	24	27	31	18	25	41	16	13	710	0	32,652	37.1	13	16	21	21	16	10	10	18	25	41	16	13	7,412	710	37.1	7,412	710	37.1
鯖江・丹生消防組合	3	19	12	16	10	21	21	5	12	575	0	22,505	35.7	12	5	12	5	12	10	10	5	23	27	11	17	4,251	575	35.7	4,251	575	35.7
南越消防組合	4	21	24	19	5	23	27	11	17	809	0	37,470	37.6	17	11	17	11	17	5	23	19	24	27	11	17	5,684	809	37.6	5,684	809	37.6
敦賀美方消防組合	7	13	23	22	29	30	14	6	3	732	1	29,490	35.8	3	6	14	6	3	29	22	29	30	14	6	3	5,262	732	35.8	5,262	732	35.8
若狭消防組合	4	19	20	22	9	14	15	8	12	966	3	36,416	38.0	12	8	15	8	12	9	14	22	20	15	8	12	4,677	966	38.0	4,677	966	38.0
計	33	160	161	175	103	169	206	94	145	5,814	8	93,252,762	38.0	145	169	206	94	145	103	169	175	206	94	145	47,338	5,814	38.0	47,338	5,814	38.0	

注:18歳〜19歳の欄は18歳未満含む。

第7表 在職年数別消防吏員および消防団員数

令和2年4月1日現在

年数別 消防(局)本部名	消 防 吏 員						消 防 団 員									
	消			防			常 勤			非 常 勤						
	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上
福 井 市	372	85	57	33	25	30	48	94	1,010	243	188	212	120	102	71	74
大 野 市	55	7	9	6	6	7	8	12	455	71	135	74	48	47	44	36
勝 山 市	38	3	6	4	4	6	6	9	295	52	55	49	54	40	27	18
永 平 寺 町	41	8	8	2	3	6	8	6	262	85	73	45	26	18	12	3
嶺 北 消 防 組 合	200	32	31	35	15	16	41	30	710	130	135	146	108	99	49	43
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	119	22	15	20	10	17	14	21	575	140	140	112	104	52	17	10
南 越 消 防 組 合	151	32	27	13	6	23	23	27	809	180	163	133	120	92	78	43
敦 賀 美 方 消 防 組 合	147	19	37	23	20	19	22	7	732	237	236	131	70	23	22	13
若 狭 消 防 組 合	123	18	29	16	12	12	15	21	966	428	228	166	88	43	10	3
計	1,246	226	219	152	101	136	185	227	5,814	1,566	1,353	1,068	738	516	330	243

第8表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部および署)

令和2年4月1日現在

区分	消防本部・署 現有													その他車両											
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車 (ポンプ付でないものを含む)	18m級	24m級	30m級	38m級	消防ポンプは折し自動車付	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防ポンプ自動車	指揮車	照明車		積載車 小型動力ポンプ 積載車 小型動力ポンプ	広報車	資器材搬送車	屈折放水塔車	水槽車	支援車	人員搬送車	防災指導車	救急自動車	救助工作車	
消防(局)本部名																									
福井市消防局	20	3	2	1	1	1	1	1	1	1	3	5		7	6	4			1	1	1		11 (11)	2	8
大野市消防本部	4				1						1	1			1	2		1					4 (4)	1	
勝山市消防本部	2	1	1		1							1			1	1							3 (3)	1	2
永平寺町消防本部		3										1		2	1	1						1 (3)	1		
嶺北消防組合	6	4				1		1		1	4	5		7	1	5			1				8 (8)	3	9
鯖江・丹生消防組合	5	1				1					2	2			10	2		1	1	1	1	1	6 (6)	1	
南越消防組合	7	4	1			1					2	3		1	7	5			1	1	1		8 (8)	3	
敦賀美方消防組合	3	4	1				1				2	1		6	1	5			1	1			6 (6)	2	8
若狭消防組合	7	3				1					1	1		6	6	2				1	1		7 (7)	1	
計	54	23	4	2	4	2	2	2	1	2	15	20	0	29	34	27	0	4	4	4	4	2	56 (56)	15	27

注:救急自動車の()は高規格救急自動車で内数

第9表 消防ポンプ自動車等現有数（消防団）

令和2年4月1日現在

種別 消防(局)本部名	消防団現有			
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	
			小型動力ポンプ付積載車	車両に積載していないもの
福井市	1		52	41
大野市	10		22	
勝山市	2		11	
永平寺町	10		11	
嶺北消防組合	35		7	
鯖江・丹生消防組合	34		3	3
南越消防組合	12		27	1
敦賀美方消防組合	23		31	6
若狭消防組合	9		44	46
計	136	0	208	97

第10表 化学消火薬剤備蓄状況

令和2年4月1日現在

種別	計		化学消火剤種別															
	(A)	(B)	たんぱく系		合成界面	水成膜泡	水溶性液体用泡	粉末(kg)										
	(kg) (ア)～(オ)	(kg) (カ)～(ケ)	3%型 (キ)	6%型 (ク)	活性剤 (ク)	消火薬剤 (ク)	消火薬剤 (副アルコール用) (オ)	第1種 粉未 (カ)	第2種 粉未 (キ)	第3種 粉未 (ク)	第4種 粉未 (ケ)							
消防(局)本部名																		
福井市	14.95	0.00	10.50	0.09	1.63	2.39	0.34											
大野市	1.37	0.00			1.37													
勝山市	0.84	0.00			0.84													
永平寺町	0.60	0.00			0.60													
嶺北消防組合	32.25	0.00	5.07		3.77	19.83	3.58											
鯖江・丹生消防組合	4.52	0.00			2.54	1.98												
南越消防組合	2.16	0.00			0.88	1.28												
敦賀美方消防組合	4.64	0.00	0.85		2.59	0.92	0.28											
若狭消防組合	1.34	0.00			1.34													
計	62.67	0.00	16.42	0.09	15.56	26.40	4.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						

第11表 消防水利の状況

令和2年4月1日現在

種別	計	消火栓				小計(C)(D)+(E)				公設(D)				私設(E)				その他												
		小計		公設	私設	100m ³ 以上		60m ³ ～		40m ³ ～		20m ³ ～		100m ³ 以上		60m ³ ～		40m ³ ～		20m ³ ～		小計	河川・溝等	海・湖	プール	壕・池等	下水道	その他		
		(A)	(B)			井戸	井戸	井戸	井戸	井戸	井戸	井戸	井戸	井戸	井戸	井戸	井戸	井戸	井戸											
消防(局)本部名																														
福井市	10,422	9,569		9,569	30	8	785	30	20	30	8	785	30	30	0	0	0	0	0	0	0	330	128						123	
大野市	827	481		481	3	3	287	27	16	27	1	219	16	3	2	68	10				8									
勝山市	645	432		432	3	2	195		13		3	195	13	0	0	0	0				0									
永平寺町	441	177		177	1	19	233		11		1	233	11	0	0	0	0				9									
嶺北消防組合	2,802	1,448		1,448	69	66	1,116		103		13	48	929	80	0	18	187	23			56	12	6							
鯖江・丹生消防組合	2,591	1,658		1,658	17	13	864		39		15	10	845	39	0	3	19	0			32								5	
南越消防組合	3,324	2,604		2,506	7	18	663		32		6	18	648	31	0	0	15	1			107	61	1						1	
敦賀美方消防組合	1,741	1,301		1,301	5	9	209	53	164		5	4	189	156	53	0	5	20	8		0									
若狭消防組合	1,641	1,079		1,079	1	5	498		58		1	2	491	52	0	3	7	6			31									
計	24,434	18,749	98	18,651	136	143	4,850	80	476	80	74	112	4,534	428	80	62	316	48			573	201	7				218	18	0	129

第12表 消防機関の出動状況

令和元年中

区分	種別	県計 (ア)~(カ)	火災 (ア)	風水害 等の 災害 (イ)	演習 訓練 (ウ)	広報 指導 (エ)	警防 調査 (オ)	火災 原因 調査 (カ)	特別 警戒 (キ)	捜索 (ク)	予防 査察 (ケ)	誤報等 (コ)	その他 (サ)
消防本部・署所	出動回数	21,050	174	5	1,797	3,819	5,578	240	1,578	23	6,501	76	1,259
	出動延人数	65,740	3,034	15	11,140	10,102	14,179	1,226	4,169	202	16,489	963	4,221
消防団	出動回数	3,552	100	5	1,089	278	6	0	564	0	0	25	1,485
	出動延人数	33,901	1,445	196	14,297	2,842	186	0	5,452	0	0	124	9,359

第13表 消防吏員および団員の公務による死傷者数

令和元年中

区分	種別	県計 (ア)~(キ)	火災 (ア)	風水害 等の 災害 (イ)	救急 業務 (ウ)	演習 訓練 (エ)	特別 警戒 (オ)	捜索 (カ)	その他 (キ)
消防吏員	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	11	3	0	0	8	0	0	0
消防団	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	6	0	0	0	6	0	0	0

第14表 火災通報施設等の現況

令和2年4月1日現在

区分	火災報知機			テレビ 監視装置 (基)	望 楼		電 話					救急指令装置	
	受信機 (基)	発信機			小計 (ウ)+(エ) (基)	24時間 監視体 制をとつ ているもの (ウ) (基)	その他 (エ) (基)	小計 (カ)+(キ)+(ク) (回線)	消防機関にあるもの		加入電話 (キ) (回線)	救急指令専用	消防 指令装置と併用
		小計 (ア)+(イ) (基)	公衆用 (ア) (基)						自衛用 (イ) (基)	火災報知 専用電話 (カ) (回線)			
消防(局)本部名													
福井市	0				0		276	18	198	160	60		1
大野市	0			1	0		32	9	2	5	21		
勝山市	0				0		12	5			7		
永平寺町	0				0		17	12			5		1
嶺北消防組合	0				0		47	14			33		
鯖江・丹生消防組合	0				0		58	13	5	229	40	1	1
南越消防組合	0				0		55	12	2	6	41		
敦賀美方消防組合	0				0		44	13	9	257	22		
若狭消防組合	0			1	0		48	8	8		32		
計	0	0	0	2	0	0	589	104	224	657	261	1	3

第15表 無線通信施設等の現況

令和2年4月1日現在

種別 消防(局) 本部名	消防・救急業務用無線(デジタル方式)											携帯電話等			
	固定局			基地局および携帯基地局						移動局		その他の無線局数	衛星携帯電話保有数	救急車および救急隊	うち災害時 優先電話
	局数		局 の電波 の数の その他	局数		電波の数				陸上移動局数	携帯局数				
	多重	その他		基地局	携帯基地局	統制波	主運用波	活動波	防災相互波						
福井市	6			9		3	1	5		174			1	11	8
大野市				3		3	1	2		37			3	4	3
勝山市		13	13	3		3	1	2		42			1	2	2
永平寺町				3		3	1	2		12	15		1	3	3
嶺北消防組合				4		3	1	3		131			1	9	
鯖江・丹生消防組合				5		3	1	2		98			3	6	6
南越消防組合				7		3	1	3		155			5	8	8
敦賀美方消防組合				8		3	1	2		137			3	6	5
若狭消防組合				6		3	1	2	1	135			1	6	6
計	6	13	13	48	0	27	9	23	1	921	15	0	19	55	41

第16表 幼年消防クラブの現況

令和2年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数			
	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市 単位	町 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市 単位	町 単位	地区 単位	その他
消防(局)本部名														
福井市	2	2						45	45					
大野市	14	14						1,029	1,029					
勝山市	12	12						462	462					
永平寺町	10	10						573	573					
嶺北消防組合	46	46						4,186	4,186					
鯖江・丹生消防組合	38	38						1,398	1,398					
南越消防組合	37	37						853	853					
敦賀美方消防組合	37	37						2,745	2,745					
若狭消防組合	1	1						18	18					
計	197	197	0	0	0	0	0	11,309	11,309	0	0	0	0	0

第17表 少年消防クラブの現況

令和2年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数					
	計	学校単位		市町単位	地区単位	その他	計	学校単位		市町単位	地区単位	その他	学校単位		計	
		小学校	中学校					小学校	中学校				小学校	中学校		
消防(局)本部名																
福井市	50	50					2,756	2,756						70	70	
大野市	15	10	5			582	500	82					14	10	4	
勝山市	16	3		4	9	797	342				61	394	45	9		36
永平寺町	11				11	222						222	54			54
嶺北消防組合	26	26				1,109	1,109						26	26		
鯖江・丹生消防組合	20	20				2,691	2,691						118	118		
南越消防組合	21	21				835	835						34	34		
敦賀美方消防組合	12	12				419	419						12	12		
若狭消防組合	0					0							0			
計	171	142	5	4	20	9,411	8,652	82	0	61	616	373	279	4	90	

第18表 女性防火クラブの現況および活動状況

令和2年4月1日現在

種別	合計		周囲の状況						活動状況別組織数			
	組織数 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)	人員 (カ)+(キ)+(ク)+(ケ)	市街地		農山村地域		漁村地域		消火活動を行う	消火活動は行わないが、吹き出し、連絡、救護等を行う	(a)(b)は行わず、予防の啓蒙活動を行っている	
			組織数 (ア)	人員 (カ)	組織数 (イ)	人員 (キ)	組織数 (ウ)	人員 (ク)				組織数 (エ)
消防(局)本部名												
福井市	41	1,644	18	582	20	601	3	461	8			33
大野市	1	34			1	34			1			
勝山市	8	77	2	30	6	47			8			
永平寺町	1	18	1	18								1
嶺北消防組合	2	515	2	515								2
鯖江・丹生消防組合	22	1,125	7	109	12	445	3	571	12			10
南越消防組合	19	232	12	129	7	103				19		
敦賀美方消防組合	7	1,505	2	1,450	2	34	3	21	5	2		
若狭消防組合	14	194			8	134	6	60	14			
計	115	5,344	44	2,833	56	1,398	15	1,113	48	21	0	46

第19表 消防表彰受賞状況

種 類		年 度										
		22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	
叙 勲		23	22	21	22	23	21	31	33	21	23	
藍 綬 褒 章					3	3	2				3	
消 防 庁 長 官 表 彰	功 勞 章	2	1	2	2	2	1	1	1			
	永年勤続功労章	21	21	21	21	21	22	22	23	23	23	
	表 彰 旗											
	竿 頭 綬				1	1	1					
	消防団 地域 活動	消 防 団	1	1	1	1	1	1	1			
		事 業 所	1	1				1			1	4
	少 年 消 防 ク ラ ブ	表 彰 旗	1			1						
		表 彰 楯		1	1		1	1	1	1	1	1
		指 導 者										
	福 井 県 知 事 表 彰	功 勞 章	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
永年勤続精績章		142	155	152	154	177	132	168	149	154	137	
銀 杯		30 年 以 上										
		退職10～15年未満	66	70	67	71	73	49	55	67	58	68
感 謝 状		退 職 幹 部	24	22	22	33	16	49	23	20	17	19
		人 命 救 助 そ の 他										
		夫 人 表 彰	36	33	28	26	33	33	31	26	47	44
竿 頭 綬				35	46	46	47	49	52	45		
特 別 功 勞 章												

第7章 消防教育訓練

1 消防学校の概要

(1) 沿革

昭和34年7月16日 福井市水越町に福井県消防学校設置
 昭和47年11月1日 福井市合谷町へ移転
 平成8年4月1日 福井市大畑町へ再移転、現在に至る。

(2) 施設概要

ア 所在地等 (ア)所在地 福井市大畑町97-21-3
 (イ)敷地面積 40,759.02㎡

イ 建物工作物等

建物構造および規模

・敷地面積……………40,759.02㎡ ・建物延面積……………8,001.62㎡

名称	規模・構造	延べ面積(㎡)	内 容
教育管理棟 宿泊施設(3階)	RC造3階	3,249㎡	1階 校長室 講師控室 職員室 会議室 女性専用寮室(2室) 宿直室 2階 普通教室(60人)(40人) 談話室 図書室 視聴覚室 理化学室(各種実習室併設) 等 3階 寮室(20室) トレーニングルーム 娯楽室
体育館	鉄骨造2階建	2,106.25㎡	1階 食堂 学生ホール 和室 倉庫 2階 アリーナ
雨天訓練場	鉄骨平屋建	1,091.22㎡	訓練場(救助、ポンプ操法訓練施設) 訓練資器材庫 訓練車両庫
訓練塔(主)	SRC造 地下1階建 地上8階建	594.84㎡	立坑訓練室 耐煙迷路室 消火設備実験室 垂直救助訓練 水平ロープ渡過 ブリッジ救出訓練施設 放水訓練室 水平救助・担架吊り下げ救出訓練施設 梯子車注水訓練室 積載梯子上救出訓練施設 梯子車進入訓練室 高所活動・人命検索訓練施設 救助袋等避難器具取扱訓練室 地下火災実験室
訓練塔(補助)	鉄骨造 地上7m	A塔 70.44㎡ B塔 32.86㎡	人命救助訓練施設 引上救助訓練施設 中高層建物防御訓練施設 斜め救助訓練施設 障害突破 垂直降下訓練施設
水難訓練用プール (兼、潜水訓練)	FRP製	25m×5コース 水深1.5m～3.0m 容量630m³ 採水口4箇所(ポンプ車用) 機械室・便所(34.43㎡)	
その他施設			油火災消火訓練施設(耐火レンガ造) 直径3m×高さ0.5m 防火訓練壁 幅14m×高さ4m 受水槽20㎡ 煙道訓練施設 間口1.0m×1.0m 模擬火災訓練家屋(可搬式プレハブ型模擬ハウス) 山岳救助訓練施設(25m×60m)
屋外訓練場		7,800㎡(120m×65m)	1周200mグラウンド

2 教育訓練

消防職団員の各種教育訓練を第1表および第2表のように実施し、人的消防力の充実向上を図るとともに、より高度の専門的知識を修得させた。
 また、第3表のとおり消防大学校へ職員を派遣した。

令和元年度 消防本部(局)別受講者数

区分	教育訓練の種類	項目	実施年月日	教育 実日数	延時間	消防本部(局)										合計			
						福井	敦賀美方	南越	若狭	大野	勝山	鯖江丹生	嶺北	永平寺	その他				
消防職員	初任教育(第54期) 幹部教育 専科教育	初級幹部科(第43期) 中級幹部科 上級幹部科(第14期) 警防科 特殊災害科(第9期) 予防査察科(第15期) 危険物科 火災調査科(第23期) 救助科(第43期) 救急科(第27期) 水難救助科(第24期) 特別講座等 操法指導員教育 起震車操作員教育(新規養成)	31. 4. 3~R1. 9. 26	117	814	11	3	9	4	2		6	5			40			
			R1. 12. 2~12. 13	10	70	2	2		1			2	4				16		
			隔年実施のため中止																
			R1. 6. 19~6. 21	3	21	2	2	1	2			1		2			11		
			隔年実施のため中止																
			R1. 11. 21~11. 29	7	49	2	2	2	2	1	1	1	2	4			16		
			R2. 2. 12~2. 26	10	70	2	2	2	2	1	1	1	1	4			15		
			隔年実施のため中止																
			R2. 1. 8~1. 22	10	70	2	2	2	2	1	1	1	1	4			15		
			R1. 10. 8~11. 12	23	161	2	2	2	2	1	1	1	1	4			15		
消防団員	初級幹部科 指揮幹部科	初級幹部科(第27期) 救急科(第27期) 水難救助科(第24期) 特別講座等 操法指導員教育 起震車操作員教育(新規養成)	R2. 1. 28~3. 19	36	252	4	4	5	5	2	1	4	8		34				
			R1. 7. 3~7. 19	12	84	2	2	1	2			1	4		12				
			(下記公開講座に記載)																
			31. 4. 11~4. 12	2	14	5	4	4	4	4	4	2	4	4	2		33		
			R1.5.16	1	3	3	4	3	2	1	2	2	6	4	4		25		
			小計	231	1,608	37	29	33	29	15	11	28	47	2	2	1	232		
			R1. 11. 9~11. 10	2	12	5	6	3	8	7	2	2	5	3	2		41		
			一般・その他	現場指揮課程 分団指揮課程 消防団員指導員教育(日消) 小計 自衛消防隊幹部教育 女性防火クラブ員教育 自主防災組織員教育(第1回) 自主防災組織員教育(第2回)嶺南 自主防災組織員教育(第3回) 小計 合計	R1. 11. 16~11. 17 R1. 12. 7~12. 8 R1. 11. 2~11. 3 R1.12.12 R2.3.1 R1.10.6 R1.12.1 R2.2.2		2	14	2	4	3	4	3	1	3	4	1	25	
							2	10	3	4	3	8	1	2	5	3	3		32
							2	12	1	3	3	4	1	1	2	2	1	1	
	8	48				11	17	12	24	12	6	15	12	7	7		116		
	1	7				9	13	7	4	7	2	2	2	6	3		53		
	1	6																	
	1	3				11			17	1	3	2	26				60		
	1	3				53											53		
	1	3					5						2	8	12		27		
	5	22				20	66	12	4	24	3	7	16	41			193		
公開講座	上級幹部科 特殊災害科 予防査察科 救急科 合計	R1.6.20 R1.11.26 R2.2.14 R2.3.11	合計	244	1,678	68	112	57	57	51	20	50	75	50	1	541			
				1	4	6	4	4	1	3	1	4				27			
				1	4	9	4	4	5	1	2	3	6	2		36			
				1	4	7	3	5	5	2	2	3	4	1		32			
				1	4	6	8	6	7	2	2	7	8	8		59			
公開講座	合計	R1. 11. 9~11. 10	合計	248	1,694	96	131	76	78	57	34	64	97	61	1	695			
				4	16	28	19	19	21	6	14	22	11		154				

第2表 令和元年度消防学校教育訓練実施状況

区分	項目	入校者数	教育実日数	教育時間数	担当講師別時間数				
					学校	県	消防	専門	
消防職員	初任教育(第54期)	40	117	814	527	35	203	49	
	幹部教育	初級幹部科(第43期)	16	10	70	8	9	17	36
		中級幹部科							
		上級幹部科(第14期)	11	3	21	2		10	9
	専科教育	警防科							
		特殊災害科(第9期)	16	7	49	8	8	7	26
		予防査察科(第15期)	15	10	70	9	4	53	4
		危険物科							
		火災調査科(第23期)	15	10	70	15	11	37	7
		救助科(第43期)	15	23	161	23	8	116	14
	特別教育	救急科(第27期)	34	36	252	7	6	54	185
		水難救助科(第24期)	12	12	84	8		76	
		操法指導員教育	33	2	14	2		12	
起震車操作員教育(新規養成)		25	1	3	3				
小計		232	231	1,608	612	81	585	330	
消防団員	初級幹部科	41	2	12	10			2	
	指揮幹部科								
		現場指揮課程	25	2	14	1		13	
	分団指揮課程	32	2	10	6	4			
	消防団指導員教育(日消)	18	2	12	11	1			
小計		116	8	48	28	5	13	2	
一般・その他	自衛消防隊幹部教育	53	1	7	7				
	女性防火クラブ員教育		1	6	6				
	自主防災組織員教育	140	3	9	9				
	小計		193	5	22	22	0	0	0
合計		541	244	1,678	662	86	598	332	
公開講座	上級幹部科	27	1	4				4	
	特殊災害科	36	1	4				4	
	予防査察科	32	1	4				4	
	救急科	59	1	4				4	
	公開講座合計		154	4	16	0	0	0	16
総合計		695	248	1,694	662	86	598	348	

第3表 令和元年度消防大学校派遣者数

学科	派遣者数	備考
幹部科	(第58期)	若狭消防
	(第59期)	消防学校、永平寺町消防
	(第60期)	大野市消防
上級幹部科	1	消防学校
警防科	1	福井市消防
救助科	1	嶺北消防
救急科	1	南越消防
火災調査科	1	敦賀美方消防
新任教官科	1	福井市消防 (※短期スクーリング)
航空隊長コース	1	防災航空事務所
危機管理・国民保護コース	2	福井市役所、嶺北消防
自主防災組織育成コース	2	永平寺町役場、消防学校
自主防災組織育成短期コース	3	鯖江市役所、福井市消防、鯖江・丹生消防
合計		18